回 覧

明科いいまち通信

明科支所・明科公民館だより

安曇野市明科中川手 6824 番地１

明科支所：62－3001、明科公民館：62－4605

No.27

平成27年8月20日 発行

今月の明科地域の事業所のご紹介は、

明科高等学校 です。

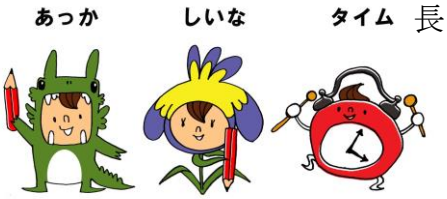
校長
巻山　圭一

日ごろ明科高校の生徒があやめまつり等の地域の行事に参加させていただき、感謝申し上げます。あやめまつりの公式キャラクター「リーリオちゃん」は、本校美術部に在籍していた生徒がデザインしたものであることはご案内のとおりですが、実は本校にはもうひとり（？）のあやめの妖精がいます。基礎教養のドリル学習をおこなう時間を３年前から設け、「明科タイム」と呼んでいますが、このとき明科タイムのマスコットキャラクターとして「あっか」「しいな」「タイム」が誕生しました。「あっか」は龍、「タイム」は時計、そして「しいな」はあやめの妖精なのです。お見知りおきいただければ幸いです。

こういった妖精たちに囲まれて、生徒は学習に部活に、そして生徒会活動に頑張っています。生徒会の環境委員会は、最近、中庭にミニトマトを作りました。菜園の傍らにミニ黒板をぶらさげ、「ミニトマトがなりました。食べてください」と書いてあります。８月 30 日（日）は流河祭の一般公開日ですので、ぜひお出かけください。

そして本年、お蔭様で明科高校は創立 30 周年を迎えました。本校の創立は昭和 61 年です。潮沢の鉄道廃線敷を歩くのがあいかわらず人気ですが、『あかしなアルバム』によりますと、篠ノ井線の明科－西条間に新線が開通したのが昭和 63 年です。昭和 49 年から新線の工事が始まり、14 年をかけました。新線の工事が始まった３年後、昭和 52 年 11 月 21 日、「高校誘致促進東筑摩郡民総決起大会」が、真新しい明科町公民館で開催されました。それから９年で明科高校が開校します。こうしてみると、新線の工事と明科高校の立ち上げとが、時期的にほぼ重なってくることがわかります。30 周年の記念式典は 10 月 24 日（土）。公開行事もありますので、お出かけいただければ幸甚です。

環境委員会栽培のミニトマト



長野県明科高等学校
電話　62－4388㈹

『明科タイム』キャラクター

信州安曇野あやめまつりにて「書の演技」

明科いいまちサロン２周年記念コンサート

はざま　ゆか　鍵盤ハーモニカ

こころ弾むメロディ　♪♪

明科いいまちつくろうかい!!が発足してはや２年。この間、延べ1,500名を超える方々にご参加いただきました。ありがとうございます！

今回は、ふるさと明科がさらに活気に満ちた、生きがいの感じられるまちになるように！・・・との願いと、みなさんへの感謝を込めて、２周年記念コンサートを企画しました。

大勢のみなさんのご参加をお待ちしています。

●日　時：８月25日（火）午前10：00～正午
●会　場：明科公民館　講堂
●参加費：300円（お茶・手作りクッキー付）
●演奏者：はざま　ゆかさん
●問い合わせ：明科公民館　　電話62-4605

8月は道路ふれあい月間です

8月10日は「道の日」

皆さん「道の日」を知っていますか？

道路は普段の生活に欠くことのできない基本的な社会資本ですが、あまりに身近な存在のため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、道路の意義・重要性について、皆さんに関心をもっていただくため、昭和61年に８月10日を「道の日」と制定しました。

道路に勝手に構造物を建てたり、車を駐車することは大きな違反、違法行為です。公共用地を無許可で個人が独占することがないようにしましょう。また、庭木などが道路へ伸びだすと、通行に支障をきたし、最悪の場合事故につながります。所有者が責任をもって伐採、剪定をしましょう。

道路の破損、陥没なども大変危険です。発見した際は、すぐに道路管理者に通報をお願い致します。

みなさんで安心・安全な道路を築いていきましょう。

市道・農林道は安曇野市役所　本庁71-2000（代）へ

毎月第３日曜日は

家庭の日

です

～家族で一緒に
過ごしましょう～

家庭の日には、優待制度が利用できる店舗・施設等があります。

詳しくは「長野県青少年育成県民会議」ホームページ http://himawari-nagano.jp/ まで。

安曇野市市政施行10周年記念事業

協働のまちづくりフォーラム開催！

地方分権の進展、人口減少・少子高齢社会の中で、今後の安曇野市を多くの市民の皆さんが考える機会として、「協働のまちづくりフォーラム」を開催します。

日時：平成27年９月５日（土）午後１時～４時20分
会場：安曇野市堀金総合体育館「サブアリーナ」

基調講演

講師：北川　正恭　先生
演題：「次なる10年に向かって
～自立する安曇野の創生を～」

パネルディスカッション

テーマ：「人口減少、少子高齢社会の中で、安曇野市が目指すもの」
コーディネーター：木村　晴壽　先生
パネラー：中田喜夫氏、松岡治信氏、望月美輪氏、横川伊吹さん、深澤美貴さん

行政に関する問い合わせは、安曇野市役所本庁が便利です。支所では担当外の件については細部までお答えできない場合が多々あります。　本庁電話　71－2000へ掛けて要件をお伝えください。

明科たからばこ㉔

よ～

信州安曇野薪能

25回を数える・・・水郷明科の超一級伝統文化芸術
いかにもいかにも 地方で人間国宝が演ずるでござる・・・

県内屈指の歴史を誇る「信州安曇野薪能」。

舞台は、川のせせらぎとススキが風になびく龍門渕公園特設能舞台。背景には、夕映えの北アルプス常念岳がそびえ立ちます。この雄大な自然環境の中で行われる舞台は、独特のすばらしい雰囲気であると、大変好評をいただいています。

旧明科町出身の観世流能楽師で重要無形文化財保持者総合指定（人間国宝）の栄誉を受けられた故青木祥二郎先生が、平成２年に明科の名誉町民第１号となられたことを契機に「故郷に恩返しを・・」と、平成３年から17年までの計15回、「水郷明科薪能」が開催されました。合併後は「信州安曇野薪能」として継承され、本年は市政施行10周年記念事業として、第25回「信州安曇野薪能」を上演する運びとなりました。

今年の演目は、能「花月」、能「松風」、狂言「萩大名」そして能「石橋 大獅子」です。シテ方は、故青木先生の御子息で観世流の青木道喜先生。先生は父親から引き継ぎ、明科だけでなく安曇野における能の普及にもつとめられ、市内各学校での講習会を実施しています。また新創作オリジナル能にも取り組み、明科にゆかりのある「犀龍小太郎」や「恋の龍門渕」も演じられています。観客の中には古典能もさながら、この地で新作能の大スペクタクル巨編を観たことは深い感激と幸せであったと言う方もいました。

故青木祥二郎先生は、大正３年（１９１４）旧中川手村で生まれ、１４歳で高等小学校１年を終えると、京都で絵画や能楽の道へ進みました。その後、昭和53年（１９７８）に人間国宝に指定されました。明南小学校には本や楽器が寄贈されています。そして喜寿を迎えた記念に「故郷で能」をという事で、記念すべき第１回を平成３年８月20日に龍門渕で開催しました。その時の演目は、能「羽衣」、「土蜘蛛」と狂言「居杭」でした。そして、まもなく明科地域を中心に「謡曲の会」も発足し、定期的に謡（うたい）の練習や発表も行われています。

薪能は、実行委員会を組織して、企業から特別協賛をいただき、また各事業所・商店などからも寄付をお願いし開催しています。市内唯一の薪能は明科が誇る大文化です。大勢で演目に耳を目をそして脳を傾け、芸術と雰囲気と感動を味わいましょう。

【エピソード】

平成２年（１９９０）１月４日、新築間もない明科中学校ランチルームで開催された新年交歓会において、故青木祥二郎先生の名誉町民顕彰式が行われ、その席で仕舞を２曲披露されました。しかし、人間国宝の仕舞というのに、乾杯後の披露であったため、飲んだり、注いだり、しゃべったりと、会場がざわざわ騒々しかったと、後にその場に参加していた数名の方からお叱りをうけたことを思いおこしました。この他、町芸術文化協会長の書道吟と会員による舞踊が実施されました。

潮沢の昔話

明科いいまちつくろうかい！！

小林　松治

潮沢は今から 420 年位前は、潮沢川を挟んで筑摩郷の潮村と日岐の郷の潮沢村という２つの村でした。その潮村から潮山中村ができ、潮沢村と潮山中村を合わせた地域が、現在の潮沢の原型のようです。その後、明治 8 年に潮村、潮山中村、潮沢村、上生野村の４ヶ村が合併して東川手村になりました。当時の潮沢は集落も 20 余ありましたが、現在の潮沢区は集約されて 13 集落（現在は常会と呼ばれる）になっています。

各常会には、文化、歴史を持っており、名九鬼には「平家の落人　文治２年５月潮山中村名九鬼に潜居す」と言う文書もあるようです。また、村社、藤城社は由緒古く大永元年（1521 年）創立と 500 年の歴史があり、地域全戸が降幡姓です。先祖は降幡備前守平政重（弘化２年（1556 年））で、お墓もあります。

生坂村の照明寺住職が長崎から持ち帰った煙草の普及により、特に柏尾集落の煙草栽培は大きな収益となり、柏尾御嶽社（覚明霊神像）をお祀りし、今も大切に守り残しています。このように潮沢の産業は江戸時代からの煙草から繁栄し、明治 20 年頃から養蚕、昭和９年頃には竹の花集落の人々によって北海道より四頭の綿羊が導入され、それを繁殖し長野県一になりました。炭や木材はもちろんのこと、これらの産業が潮沢を支えていました。

鬼退治にまつわる伝説として地名が随所に残っております。鬼とは、安曇に住む八面大王の妻のもみじ鬼神のことです。坂上田村麻呂が、潮沢の物見岩に住み着いた鬼を退治するのに、作戦を 15 日間練った場所を三五山（３×５＝15)、矢を作って放った所を矢本寺、矢が飛んだ下を矢下沢、矢が越していった所を矢越、鬼を懲らしめた所を名九鬼、頭と尾を切り離し埋められた所を柏尾と、それぞれ地名として残っています。柏尾には鬼首大明神（もみじ鬼神）を祀るお宮があります。

今回の記述で使用した各誌を、潮沢地域の資料を残して下さいました先人の方々に感謝し、後世に語り継ぎたいと思います。

（引用：明科町史、東川手その苦闘と誇り、うるわしきふるさと東川手、区民より聞き取り）

池桜の接吻道祖神

柏尾の抱擁道祖神

柏尾の風神様わら人形

編集後記

・市民にとって支所は「おらがやくば」。本庁が出来て職員が4人も減ったが支所への来客数、電話数は減少しない。支所職員は元気でなければ勤まらない。（え）

・「おじいちゃんの病気が早く良くなりますように」明科公民館ロビーの七夕飾りに書いてくれた人の願いが天に届きますように♡（す）

・お盆になると「世界の国からこんにちは」という歌を思い出します。「こんにちは♪こんにちは♪西の国から♫」…西の国へ行く日も近くなりました。（や）

・花火を見終わると、あぁ今年の夏も終わりだなと喪失感に襲われますが、今年は大丈夫。まだまだ暑いのと、良い花火の写真が撮れたから、気分が盛り上がっているのだと思います。（も）

・最近海のそばに行きました。長野って湿気がないんだなと思い知らされました。暑い！（う）

・今年の夏も終わりでしょうか…いや！9月に連休が残っています☆私はひたすら趣味に没頭します。（笑）（あ）

明科いいまち通信は、新しい明科支所と明科公民館の出来事やお知らせのたよりです。

これからも定期的に皆さんにお届けします。